



季節感

源氏物語を表した女流作家の名を持つ、この植物は何と言っても独特の艶やかな紫色にあり、雅な女性たちの姿や恋のあれこれを思わせる…

『ムラサキシキブ』

平成27年10月1日

福岡市西区飯盛神社

大塚俊樹

◆お知らせと再度のお願い◆

環境フェスティバルふくおか2015にナイス福岡も参加します

会員の皆様の参加協力をお願いします。

日時 2015年10月17(土)、18(日)

10時～16時

場所 福岡市中央区の市役所西側ふれあい広場

※ナイス福岡の展示場所は、会場の自然保護ゾーンの＜20番＞です。

今回も「自然と遊ぼう 自然に学ぼう」という掛け声と共に、木の実や草の実などを用いて、自然の中での遊びや楽しさを伝えたいとの思いで、参加します。会員の皆様、2日間の中で、半日でも1日も参加できる方は、事務局田村 (090-8220-6160) まで連絡をください。ほんの少し覗くだけでも構いません。また、当日参加はできないが、ドングリやオナモミ、あるいは引っ付き虫と言われる草の実などを集めて提供していただくことも歓迎します。

第508回 NACS-J 自然観察指導員講習会・熊本県のお誘い

主催：(公財)日本自然保護協会・自然観察指導員熊本県連絡会・ネイチャー佐賀

会場：国立阿蘇青少年交流の家(阿蘇市)

開催日：2015年11/14(土)～11/15(日) 1泊2日

費用：24,000円 申し込み期間：9/28(月)～10/19(月)

問い合わせ先：(公財)日本自然保護協会 電話 03-3553-4105

会員の皆さん、まわりの方に、講習会への参加をお勧めしてみてください。

★都市公園で自然観察会 53★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

★日時 10月18日(日) 集合14時～解散16時

★場所 春日公園・自然かんさつ館 [旧公園管理センター]

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

10/18（日） 11/15（日） 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時 間：9:00～12:00 集 合：天拝山歴史自然公園 問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）	10/25（日） 11/22（日） 久末ダム探鳥会（福岡市） 時 間：9:00～12:00 集 合：久末ダム多目的広場横 駐車場（管理事務所下） 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）	11/1（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時 間：9:00～12:00 集 合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005（神園道男）
11/14（土） 大濠公園探鳥会（福岡市中央区） 時 間：9:00～12:00 集 合：ボート乗り場前 092-573-1827（森健児）	11/8（日） 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時 間：9:00～12:00 集 合：JR 和白駅前の公園 問合せ：092-606-0012（山本廣子）	11/3（火） 県営春日公園（春日市） 時 間：10:00～12:00 集 合：旧公園管理センター前 問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部 主催

※一般参加費：100 円（中学生以下無料）

10/25（日）

黒崎公園と隈川周辺（大牟田市）

時 間：9:00～12:00

集 合：公園内すいせん橋

090-7446-9047（野田達行）



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

11/7（第1土曜日）

自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）

集 合：九州歴史資料館駐車場

時 間：9:30～12:30

問合せ：092-920-3072（松永紀代子）

参加費：200 円（大人のみ）

ブログ

「三国丘陵の自然を楽しむ会」で検索

観察会や様々な生きもの情報を載せています

久留米の自然を守る会 主催

第423回例会 10/18（日）

ネイチャーゲームと自然観察会

雨天中止

集 合：高良内幼稚園駐車場

時 間：10:00～14:30

参加費：無料 定員 30 名

持ち物：水筒、帽子、筆記用具

要申込：TEL 0942-51-7064（古賀）

FAX 0942-51-7065

問合せ：hashida@kurumenoshizen.net

（橋田沙弓）

共 催：くるめネイチャーゲームの会



開発団地そばで咲いた
ヒロハフウリンホオズキ・三国 松永

和白干潟を守る会 主催

10/24（土）

守る会定例会議

時 間：10:30～13:00

集 合：和白干潟を守る会事務所

問合せ：092-606-0012（山本廣子）

10/24（土）

クリーン作戦 と自然観察会

時 間：15:00～17:00

集 合：海の広場 駐車場なし

長靴・軍手があると便利

問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

福岡植物友の会 主催

10/18（日）

高良山（久留米市）

参加有料、予約必要

問合せ：092-575-3131（北野星二）



セアカクサカゲロウ・三国 松永

窓越しの自然観察 ⑥

稲穂が頭を垂れ、色付き始めると、恰も見守るかのように稲田を囲んで満開となる曼珠沙華が彩りを添え、身の草花の色も一層深みを増して来て、ツクツクホーシの淋しげな声とともに「もう、秋」を実感させられます。

この頃、艶やかな美しい「紫」と「白」をみせてくれるムラサキシキブとシロシキブ(いずれも、園芸種コムラサキとシロミノコムラサキらしいのですが)に鮮やかな「赤」のウメモドキ。冬鳥の到来を待っています。



足元の草むら、茎裏に1ミリの満ちない赤い袋の列。長い間、眠り草だと思ってきたのですが Wikipedia には、全く違った眠り草(オジギソウ)が多く載せられていて眠るスピードもまるで違います。写真のこれらも、同じ仲間だと思い、植物図鑑を終日ひっくり返して見ましたが、判らぬまゝ投稿しましたところ、田村氏よりトウダイグサ科コミカンソウとのご指摘があり、改めて図鑑をみた次第。朱色のボールは果実の様ですね。
(ダムサイト住人 2015/9/25 記)



★ 9月号に掲載させてもらった「春日市在住ねこ」さんの記事に登場したツマアカスズメバチ、

2015・9・12(朝日)によると、北九州市で巣が見つかったようですよ。



ツマアカスズメバチ 北九州に上陸

特定外来生物 国内、対馬以外で初確認

国の特定外来生物ツマアカスズメバチの巣が、北九州市内で確認された。国内では長崎県対馬市で繁殖が確認されているが、それ以外で見つかるのは初めて。在来スズメバチと競合し、ニホンミツバチなどの昆虫を食べるため、生態系への影響が心配される。環境省が11日、発表した。

北九州市新町浄化センター(門司区)が8月末に敷地内でスズメバチの巣を見つけた。業者が駆除したところ、ツマアカスズメバチに似ていたため市に通報。10日、同市の博物館の学芸員が確認したという。

ツマアカスズメバチは中国などが原産で、体長は2〜3センチ。対馬では2012年10月に確認された。本土への侵入を防ぐと、対馬市や環境省が駆除していた。対馬のほか、韓国・釜山でも確認されており、環境省は両地と貨客船の行き来がある全国の港に捕獲器を置いて侵入していないかを調べる。

担当者は「今回の状況を踏まえて、早期発見のための態勢をとることも検討したい」としている。

(香取啓介、写真は環境省提供)

ナイス福岡の顧問で、前の代表である冷川昌彦さん（75歳）が9/23に亡くなりました。冥福をお祈りします。
ナイス福岡の活動や自然観察会での活動、自然観察指導員の講習会、福岡県の実地・里山の案内と保全の冊子作り等々、多方面にわたって活躍されました。

会員の皆さん、冷川昌彦さんとの思い出、印象に残っていることなどを、投稿していただませんか。
あるいは、活動中の写真に一言添えて、送ってください。
生前の冷川昌彦さんの活動を思い、皆様とともに偲びたいと思います。

冷川先生の思い出…

大塚 俊樹

冷川先生と初めてお会いしたのは何時なのか定かには記憶していないが、大人（たいじん）の風格だが優しい言葉使いが印象的であったのを憶えている…

2002年6月の定例総会で事務局長に推挙されて就任しており、会を盛り上げる為、なんとか自分なりに色々と考え、その一つに、鎮守の森の観察会を提案して実行していた。

第2回目の観察会を2003年11月23日に筑紫野市御笠地区で行ない、この時のご案内人が代表の冷川先生であった。

西鉄二日市駅まえに集合し、抜ける様な青空の下、御笠地区に向かう。

私の車に同乗された先生は道みち、地区のことや宝満山の事など親しみを込めて話しをされた。宝満山の東南に位置するこの地区は集落ごとに鎮守様が祀られており、そこには鎮守の森がある。大石高木神社、本道寺大山祇神社、柚須原大山祇神社とご案内いただき、神社の由来や境内から裏山にかけての大きな樹木などの解説にただ聞き入る…近くの民家のケンボナシの味も懐かしい味で、これも先生が普段から地元の方々と深く交流されておられたからだろうと推察されました。お昼は桔梗ヶ原と言う美しく優雅な名前のクヌギ林に案内してもらい草の上の昼食となり、素晴らしい天気と眺望に包まれ身も心も解き放された1日になりました…

この頃から、今まで以上に先生の優しい語り口とお人柄を感じる様になりました。

合掌

～冷川昌彦先生の思い出～

「ナイス福岡」の事務局員として長い期間身近にいた者の一人として述べさせていただきます。小生も10数冊持っている福岡県発行の自然環境・自然観察シリーズ。シリーズの始まりは1973〔昭和48〕年ですが、小生保有で最も古いものは1985〔昭和60〕の冊子です。これら全てに執筆者として冷川先生の名前があり、1999〔平成11〕からは監修（編集の最高責任者）となられていることです。また、「ナイス福岡」の定例総会を1泊2日の日程で行なっていた頃、御自身が関与された「福岡県レッドデータブックー福岡県の希少野生生物ー」について熱心に内容の紹介をされておられた。

これら多くの文献に費やされたであろう先生の労苦を想像できます。

「NACS-J」の指導員養成講習会では、現地講師として、里地・里山の役割とその保全の重要性とを、身近な場所を例にあげながら（太宰府の宮の森、^{みずき}水城、宝満山）とくに強調されていたように思います。

冷川先生、今日も会報の作製・発送作業を皆でやっていますよ。今にも、お元気な頃のあの風貌の先生がここへ入って来られて、独得なうなづき方「そっ、そっ、そっ」で一同とにこやかに談笑されている情景が蘇ってくるようです。今頃はきっと、ライフワークであった「宝満山」を自由自在に馬区け巡っておられることでしょう。

2015年10月3日（土） 藤川 渡

私にとっての冷川先生

冷川先生には、随分前からお世話になっていました。以前勤めていた福岡市油山自然観察の森の開設当時からです。開設が1988年でしたので、もう27年も前のことです。施設の性格上、当初から自然系の専門家の方々に協力や助言をいただいていたのですが、冷川先生には、特に自然案内人の育成プログラムの運営について指導をしていただきました。まったく手探り状態だった頃に、いろんな基本的な事を教えていただいたように思います。

また、それと並行して、福岡県が「自然観察シリーズ」という小冊子を作るということで、冷川先生を中心に、植物や哺乳類、昆虫、野鳥、その他など、それぞれの専門家の先生方に混ざって、私はイラストを担当させていただいたのですが、この冊子の制作作業の時、冷川先生は、いつもニコニコしながら、うま～く作業が進むように調整してくださっていたような気がします。その後も、毎年のようにテーマを変えて冊子を作っていて、その度に、声をかけていただき、お陰様で私は、自然に関わるいろんなことを勉強させていただきました。今思い返せば、冷川先生は丸～いニコニコ顔と笑い声が絶えない方、そして根っからの先生(教える人)だなあと感じます。

冷川先生、様々な事ご指導いただき、本当にありがとうございました。なんだかアッという間に逝ってしまわれ、寂しい限りです。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

永松愛子

☆報告☆ 春日公園自然かんさつ会 2015年9月20日(第52回)

秋の始まりの観察会、参加した会員3名と9歳の地元小学生、途中で飛び入りの親子3名でした。一人で参加した小学生、参加費を握り締めていた。良い風景でしたよ。今回もいろいろな発見がありました。

開始してすぐに、セスジスズメの大きな幼虫を見ている親子に出会い、いっしょに観察し、あぶないことがないことを伝えた。

参加者の声をご紹介します。

- ・ マテバシイの実がおちはじめていた。
- ・ セミの声はつくつくぼうしのみが聞こえた。
- ・ モクレンの花の蕾が出来ていた。
- ・ シマヘビ・アメリカザリガニを見かけた。
- ・ ヒメギキョウの花が咲いていた。花の時期が長いですね。
- ・ 落ちているドンぐリ(クヌギ)、当たり外れ有り。しかも実が小さい。
- ・ どんぐりが落ち始めて 秋を知る……
- ・ モッコク(木斛)木肌の色は…



伸びた草地の中に、1本の道、見ているだけでわくわくするような風景が出現していました。しばらくあるといいのですが。観察の終わり頃、1個の種を見かけました。親の木を探しましたが、見つかりませんでした。宿題として、後の楽しみにしました。 報告 田字草



宿題となった種

落ちていた木の実

